

## 杉下智彦 外科医師・公衆衛生修士・医療人類学修士・地域保健学術博士

医学部（東北大学）、公衆衛生修士（ハーバード大学院）、学術修士（ロンドン大学アジアアフリカ研究大学院）、学術博士（ケニア・グレート大学キスム校大学院）卒業。外科医師、保健システム専門家、医療人類学者として、アフリカを中心に20年間に30か国で保健システム案件の立案や技術指導に携わる。また「持続可能な開発目標（SDGs）」の策定をはじめ、日本政府及び国際機関の委員などを務める。2016年より東京女子医科大学国際環境・熱帯医学講座（教授/講座主任）。2014年ソーシャル・ビジネス・グランプリ大賞受賞。2016年医療功労賞受賞。アフリカの歴史や文化、保健システムの造詣が深く、各国の保健システム強化における技術指導、保健政策や戦略計画策定、プライマリヘルスケア、保健医療分野における官民連携促進、ブロックチェーンなどを利用した新技術への革新などを行っている。またアフリカの伝統医療や妖術の研究、アフリカの社会起業家育成、若手人材のリーダーシップ育成など、国内外で多彩な活動を展開中。国際協力機構（JICA）グローバルヘルスアドバイザー、一般社団法人日本国際保健医療学会理事、公益財団法人ジョイセフ理事、特定非営利活動法人シェア理事、特定非営利活動法人アイサップ理事、特定非営利活動法人アフリカ日本協議会理事。一般社団法人全国医学部国際交流協議会理事。

1990年 東北大学医学部卒業

2001年 ハーバード大学大学院 修士課程卒業（公衆衛生）

2002年 ロンドン大学大学院 修士課程卒業（医療人類学）

2016年 ケニア国グレートレイク大学博士課程卒業（地域保健学博士）

2016年 第44回 医療功労賞

2016年 東京女子医科大学 国際環境・熱帯医学講座 教授・講座主任

